

IV 介護制度改革

介護分野の検討課題

社会保障・税一体改革成案 に掲げられた課題

○介護サービス提供体制

| 充実 | 重点化・効率化 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護の充実 ・ケアマネジメントの機能強化 ・施設のユニット化 (2,500億円程度) | <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・重度化予防 ・介護施設の重点化 (在宅への移行) (▲1,800億円程度) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・マンパワー増強 (2,400億円程度) | |

○費用負担の能力に応じた負担の公平化

| 充実 | 重点化・効率化 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・1号保険料の低所得者保険料軽減強化 (～1,300億円) | <ul style="list-style-type: none"> ・介護納付金の総報酬導入 (完全実施で▲1,600億円) ・重度化予防に効果のある給付への重点化 |

※数字は2015年の公費

24年度の予算編成過程 において検討すべき課題

○介護職員の処遇改善問題

・介護職員処遇改善交付金は23年度末が期限

介護報酬での対応
→介護報酬+2%分
(国費500億円)

交付金での対応
→3年分6,000億円
(1年分1,900億円)

- ・財源をどう確保するか
→ 介護納付金の総報酬割の導入
→ 給付の重点化(利用者負担の引上げ等)

○平成24年度介護報酬改定

- ・介護報酬改定率
- ・各サービスの報酬改定
- ・地域差の是正

介護職員の処遇改善

処遇改善交付金の現状

■ 制度

- 平成21年度補正予算で基金を創設し、事業者に交付

■ 効果

- 平均給与額1.5万円増加
- 介護労働者の需給逼迫状況は改善
- 給与引上げの態様

| 一時金 | 諸手当 | 本給 |
|-----|-----|-----|
| 50% | 30% | 16% |

課題

■ 財源の確保策

- ① 交付金継続の場合
3年分6000億円(1年1900億円)
- ② 報酬組入れの場合
報酬2%分=国費500億円



- 介護納付金総報酬制導入
- 給付の重点化(利用者負担の引上げ等)

関係者の意見

- A. 交付金継続(市町村、事業者団体の一部、労働組合)
- B. 報酬組入れ、2%アップ(事業者団体)
- C. 事業者の自助努力(財界、医療保険者)

※ 事業者の経営は改善

| | 特養 | 老健 | 訪問介護 |
|---------|-------|-------|-------|
| 収支差 | 9.3% | 9.9% | 5.1% |
| 3年前との比較 | +5.8% | +2.6% | +4.4% |



介護納付金への総報酬割導入

- ・現行の頭割り負担が、報酬額に比例した応能負担になる。
- ・協会けんぽに投入されている国庫補助が不要になり、介護サービスの充実に充当できる。

第5期(平成24~26年度)平均(見込額)

| | 第2号被保険者 1人当たり負担額 (現行) | 第2号被保険者 1人当たり報酬額 | 負担割合 |
|-------------------------|-----------------------------|---------------------|-----------|
| 健保組合 (労使含めて の月額) | 4,900円 | 463万円 | 1.27% |
| 共済組合 | 4,900円 | 499万円 | 1.18% |
| 協会けんぽ (労使含めて の月額) | 〔 4,900円 〕 | 〔 318万円 〕 | 〔 1.85% 〕 |
| 国庫補助充 当による実 際負担額 | 4,100円 | 318万円 | 1.55% |

○ 中小企業の従業員等が加入する協会けんぽの費用負担能力を考慮し、介護納付金の16.4%分が国庫補助されている。

| | 完全に総報酬割を導入する場合 | 1/3導入する場合 |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| 負担割合 | | |
| 第2号被保険者 1人当たり負担額 | 5,800円 【+900円】 | 5,200円 【+300円】 |
| 第2号被保険者 1人当たり負担額 | 6,000円 【+1,100円】 | 5,300円 【+400円】 |
| 第2号被保険者 1人当たり負担額 | 〔 4,000円 〕 【-900円】 | 〔 4,600円 〕 【-300円】 |
| 第2号被保険者 1人当たり負担額 | 4,000円 【-100円】 | 4,050円 【- 50円】 |

1.49%

○ 負担能力に応じた負担になることにより、この国庫補助が不要に
完全導入の場合：▲1,300億円
1/3導入の場合：▲430億円 (第5期平均の見込額)

○ なお、健保組合内で見ると、負担額の変化は負担能力によって異なり、多くの組合で負担が増加するが、負担が減少する組合も存在。

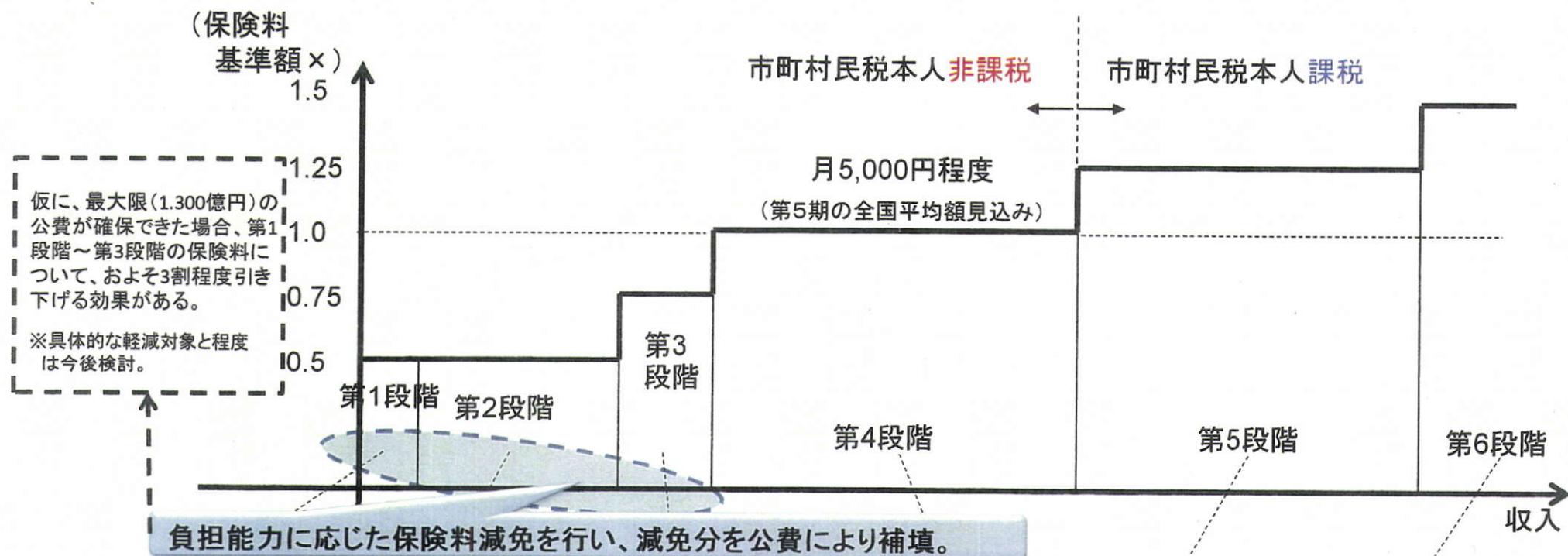
| 納付額が増加する組合数 | 納付額が減少する組合数 |
|-------------|-------------|
| 1,135 | 362 |

高齢者の保険料(第1号保険料)の低所得者対策強化

【現行】 低所得者等に配慮し負担能力に応じた負担を求める観点から、市町村民税の課税状況等に応じて段階別に設定されている。(標準は6段階)

【見直し】 低所得の被保険者で資産等の状況からさらに負担能力が低いと認められる者の保険料について、公費を投入することにより負担を軽減。

第1号被保険者数:28,848,463人(平成21年度末現在)



第1段階

生活保護被保護者、
世帯全員が市町村民税非課税の老齢福祉年金受給者等

第2段階

世帯全員が市町村民税非課税かつ本人年金収入80万円以下等

第3段階

世帯全員が市町村民税非課税かつ本人年金収入80万円超等

第4段階

本人が市町村民税非課税(世帯に課税者がいる)

第5段階

市町村民税課税かつ基準所得金額200万円未満

第6段階

市町村民税課税かつ基準所得金額200万円以上

昨年介護保険部会で議論した給付に関する制度見直しの論点

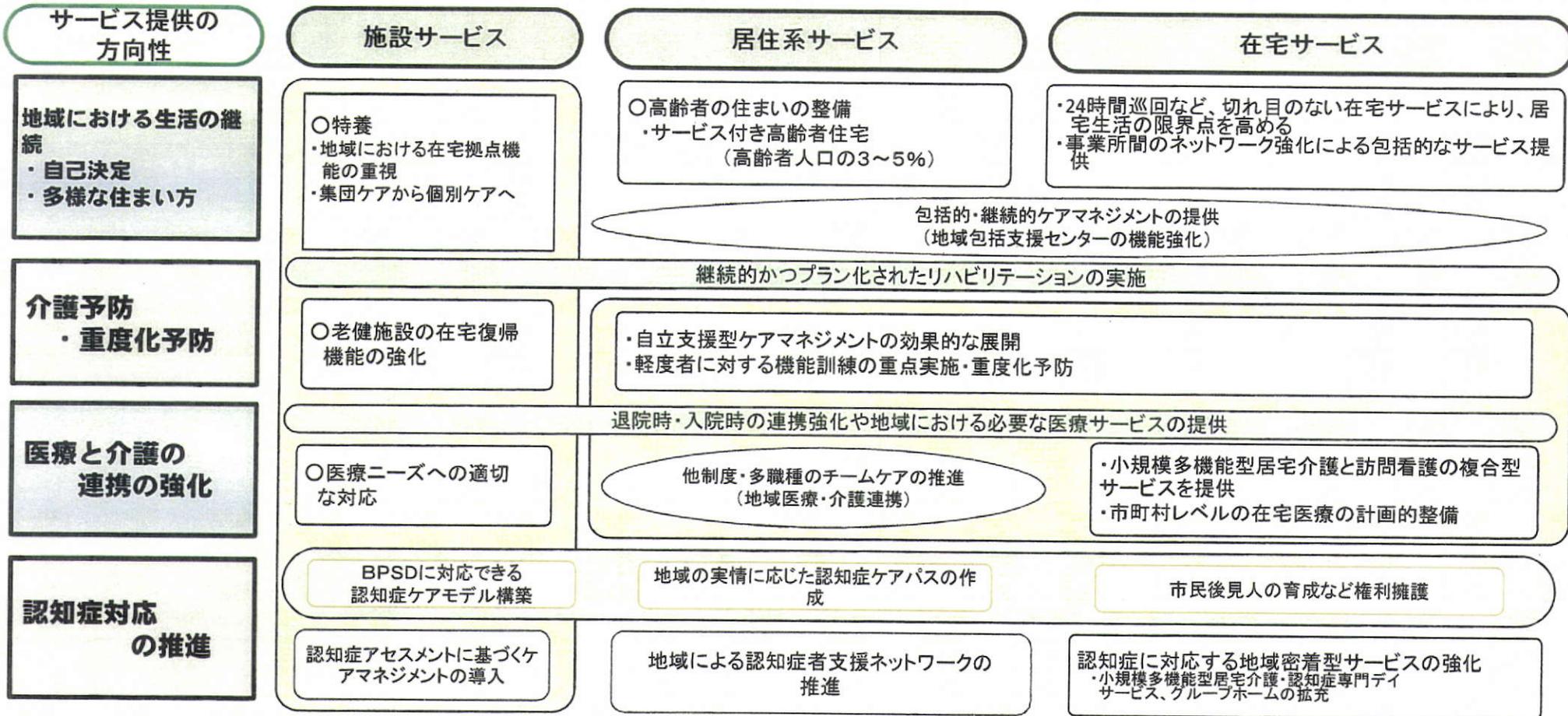
- 要支援者の利用者負担
- ケアマネジメントに係る利用者負担
- 一定以上所得者の利用者負担
- 多床室における室料負担
- 補足給付における資産等の勘案

※ 他に、施設対応を中重度者中心にしていく観点からの見直しについて検討。

社会保障・税一体改革が目指す介護の全体像

～高齢者の尊厳の保持と自立支援を支える介護～

○ 支援を必要とする人の立場に立った、包括的な支援体制を構築し、また、地域で尊厳を持って生きられるよう、それを支える制度の持続可能性・安定性の確保及び介護人材の確保と資質の向上を図る。



あるべき介護サービス体系を支えるための機能強化

制度の持続可能性、安定性の確保

介護人材の確保と資質の向上

社会保障・税一体改革が目指す医療・介護のサービス提供体制

～在宅介護サービス、居住系サービス、介護施設の利用者数の見込み～

○ 現状の年齢階級別のサービス利用状況が続いたと仮定した場合（現状投影シナリオ）に比べ、改革シナリオでは在宅・居住系サービスを拡充。

| 2011年度 | | 2025年度 (現状投影シナリオ) | 2025年度 (改革シナリオパターン1) |
|----------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|--|
| 利用者数 | | 426万人 | 647万人(1.5倍) |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防・重度化予防により全体として3%減 入院の減少(介護への移行):14万人増 |
| 在宅介護 | 304万人分 | 434万人分(1.4倍) | 449万人分(1.5倍) |
| うち小規模多機能 うち定期巡回・ 随時対応型サービス | 5万人分 — | 8万人分(1.6倍) — | 40万人分(8.1倍) 15万人分(—) |
| 居住系サービス | 31万人分 | 52万人分(1.7倍) | 61万人分(2.0倍) |
| 特定施設 グループホーム | 15万人分 16万人分 | 25万人分(1.6倍) 27万人分(1.7倍) | 24万人分(1.6倍) 37万人分(2.3倍) |
| 介護施設 | 92万人分 | 161万人分(1.8倍) | 131万人分(1.4倍) |
| 特養 | 48万人分 (うちユニット12万人(26%)) | 86万人分(1.8倍) (うちユニット22万人分(26%)) | 72万人分(1.5倍) (うちユニット51万人分(70%)) |
| 老健(+介護療養) | 44万人分 (うちユニット2万人(4%)) | 75万人分(1.7倍) (うちユニット4万人分(5%)) | 59万人分(1.3倍) (うちユニット29万人部(50%)) |

介護職員 140万人

213万人から224万人

232万人から244万人

V その他

総合合算制度の導入 ～番号制度を活用した低所得者の自己負担軽減～

- 税・社会保障の負担が増加する中で、低所得者の負担軽減により所得再分配機能を強化
- 社会保険制度の持続性・安定性の確保
- 制度横断的な自己負担軽減策の導入

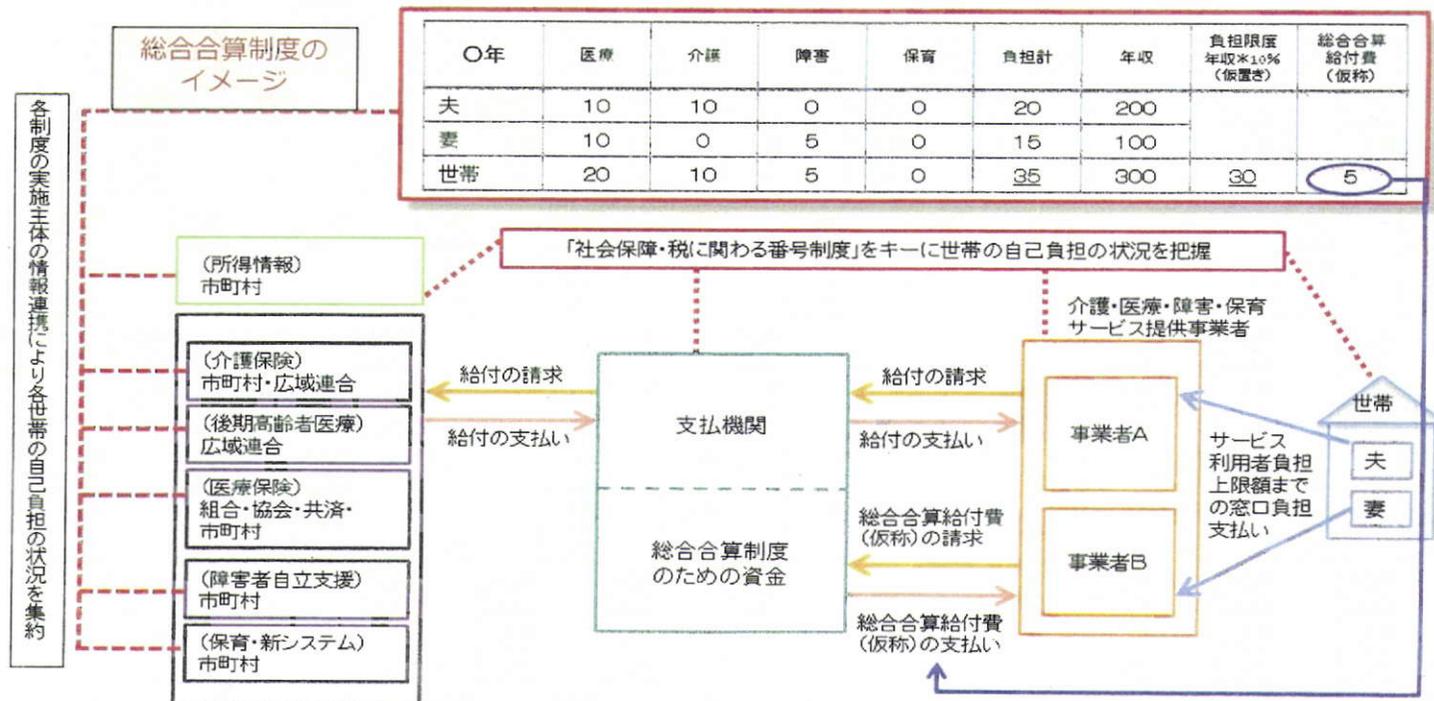
所要額（公費）
2015年以降
～0.4兆円程度

<現状>

- 今後の高齢化や社会保障の機能強化に伴い負担の増加が見込まれる中で、低所得層の負担能力へのきめ細かな配慮が必要
- 貯蓄も少ない低所得者が失業したり病気にかかると、生活保護に至る手前で受け止められるセーフティネットが不十分
- 各社会保障制度で個別に低所得者対策が講じられているが、累次の改正により複雑化し、国民には全体像が分かりにくい

充 実

- 「低所得者の家計に過重な負担をかけない」観点から、制度単位ではなく家計全体をトータルに捉えて、医療・介護・保育・障害に関する自己負担の合計額に上限を設定
- 基礎的な消費支出等を踏まえ、負担上限を年収の一定割合とするなど、低所得者に対してきめ細かく設定
- 2015年以降の「社会保障・税に関わる番号制度」等の情報連携基盤の整備が前提

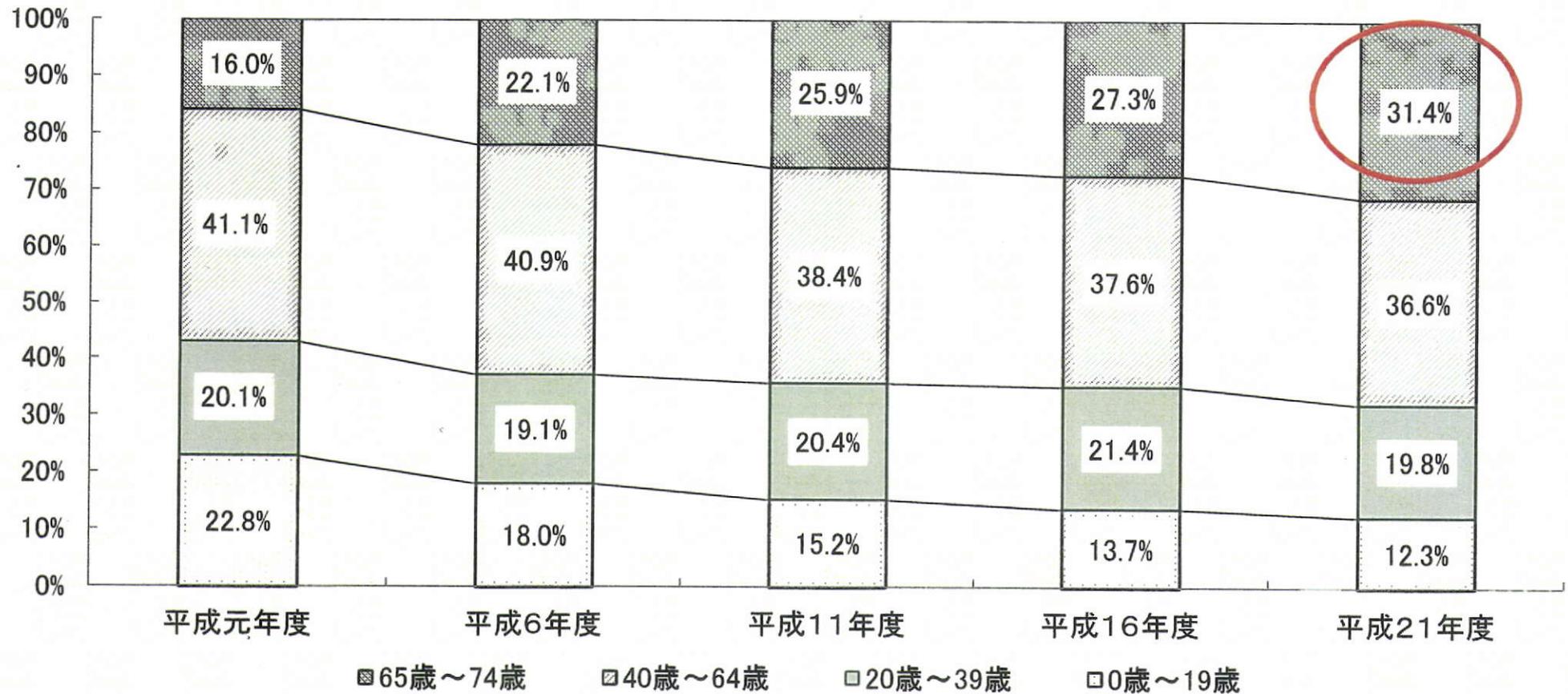


**市町村国保の財政基盤の強化・
財政運営の都道府県単位化**

(参考資料)

市町村国保の被保険者(75歳未満)の年齢構成の推移

被保険者数全体に占める、65歳から74歳までの割合が次第に増加し、平成21年度には31.4%となっている。

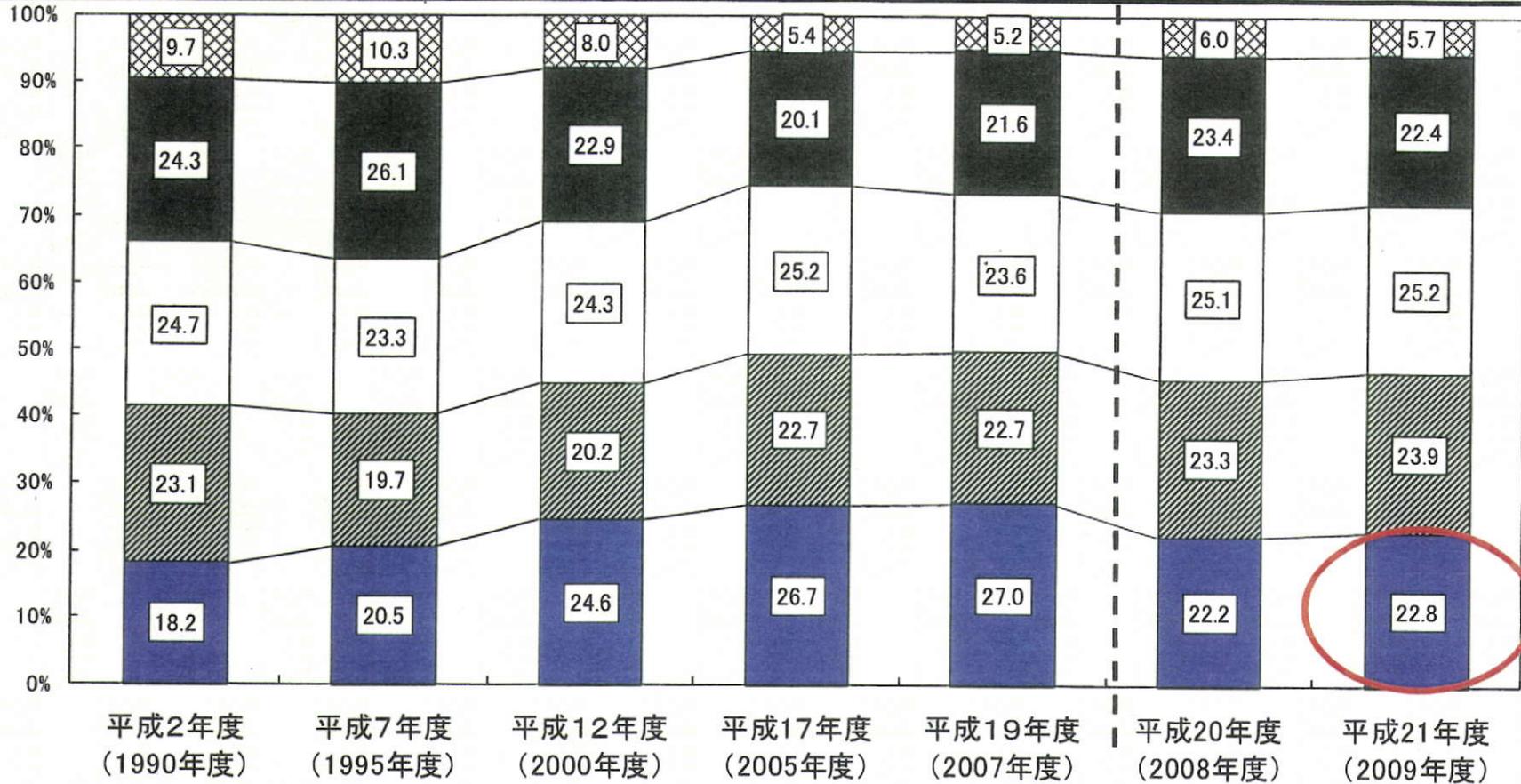


(資料)厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査」

世帯の所得階層別割合の推移

平成21年度において、加入世帯の22.8%が所得なし、23.9%が0円以上100万円未満世帯であり、低所得世帯の割合が次第に増加している。

※「所得なし」世帯の収入は、給与収入世帯で98万円以下、年金収入世帯で153万円以下。



■ 所得なし ■ 0円以上100万円未満 □ 100万円以上200万円未満 ■ 200万円以上500万円未満 ▨ 500万円以上

(注1) 国民健康保険実態調査報告による。

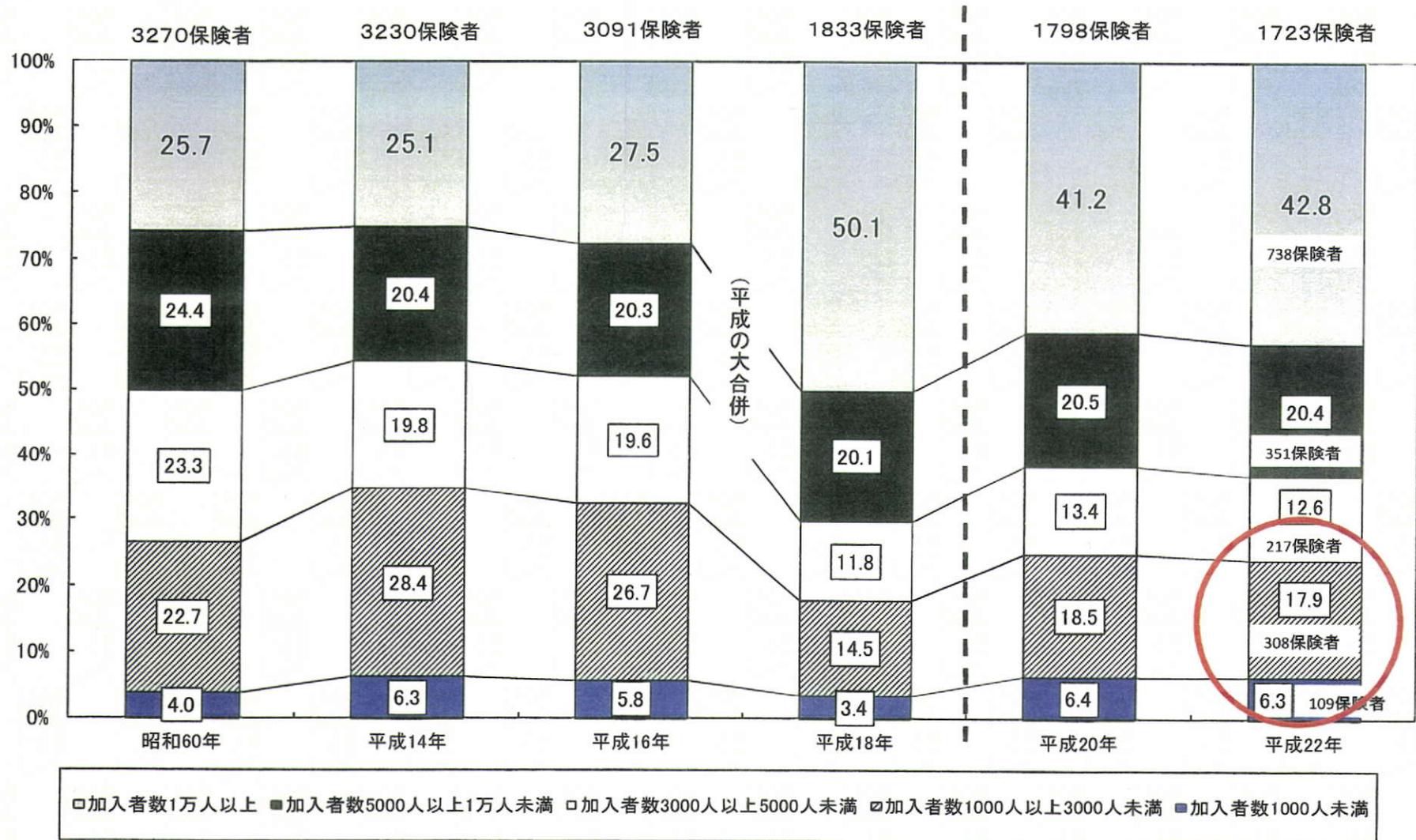
(注2) 擬制世帯主、所得不詳は除いて集計している。

(注3) 平成20年度以降は後期高齢者医療制度創設され、対象世帯が異なっていることに留意が必要。

(注4) ここでいう所得とは「旧ただし書き方式」により算定された所得総額(基礎控除前)である。

保険者規模別構成割合の推移

平成22年9月末時点で、1,723保険者中417保険者が被保険者数3,000人未満の小規模保険者。



(出所):「国民健康保険実態調査」

(注)平成20年度に後期高齢者医療制度が創設され、被保険者数が減少していることに留意が必要。

都道府県別1人当たり医療費の格差の状況

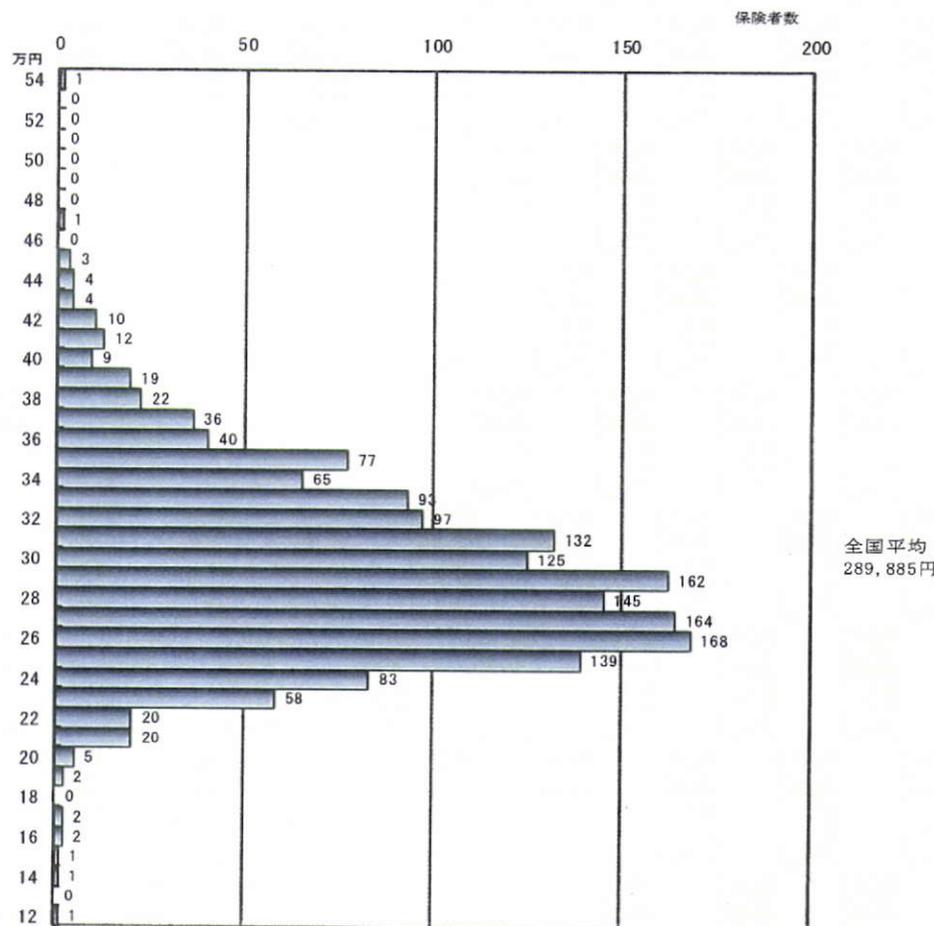
都道府県別1人当たり医療費の格差の状況(平成21年度)

1人当たり医療費の地域格差(平成21年度)

①1人当たり医療費の格差

| | 最高・最低の市町村 | 最高・最低の都道府県 | 全国平均 |
|---------|-----------------------|---------------|----------|
| 最高(A) | 馬路村 (高知) 549,175円 | 広島県 351,815円 | 289,885円 |
| 最低(B) | 御蔵島村 (東京) 127,349円 | 沖縄県 240,938円 | |
| (A)/(B) | 4.3倍 | 1.5倍 | |
| 標準偏差 | 市町村別 45,634円 | 都道府県別 31,230円 | |

②1人当たり医療費の分布



(注) 3~2月診療ベースである。

| | 保険者別1人当たり医療費 | | | 都道府県別1人当たり医療費 | |
|------|-----------------|--------------|------|---------------|----|
| | 最大 | 最小 | 格差 | 1人当たり医療費 | 順位 |
| 北海道 | 赤平市 458,063 | 別海町 215,812 | 2.1倍 | 334,374 | 11 |
| 青森県 | 外ヶ浜町 333,185 | 大間町 217,692 | 1.5倍 | 272,689 | 35 |
| 岩手県 | 西和賀町 357,342 | 普代村 224,167 | 1.6倍 | 288,582 | 30 |
| 宮城県 | 七ヶ宿町 343,029 | 蔵王町 245,213 | 1.4倍 | 281,387 | 34 |
| 秋田県 | 井川町 382,568 | 大潟村 219,588 | 1.7倍 | 316,457 | 17 |
| 山形県 | 山辺町 328,533 | 三川町 221,505 | 1.5倍 | 289,058 | 28 |
| 福島県 | 柳津町 354,057 | 北塩原村 227,269 | 1.6倍 | 283,238 | 32 |
| 茨城県 | 北茨城市 293,934 | 境町 207,968 | 1.4倍 | 247,156 | 46 |
| 栃木県 | 岩舟町 281,096 | 益子町 225,053 | 1.2倍 | 255,748 | 45 |
| 群馬県 | 神流町 430,270 | 縄恋村 209,165 | 2.1倍 | 262,721 | 42 |
| 埼玉県 | 東秩父村 312,854 | 川口市 235,557 | 1.3倍 | 261,535 | 43 |
| 千葉県 | 長南町 320,168 | 旭市 209,576 | 1.5倍 | 257,331 | 44 |
| 東京都 | 奥多摩町 345,335 | 御蔵島村 127,349 | 2.7倍 | 284,810 | 41 |
| 神奈川県 | 真鶴町 315,119 | 海老名市 253,448 | 1.2倍 | 270,912 | 37 |
| 新潟県 | 阿賀町 374,637 | 湯沢町 229,310 | 1.6倍 | 299,501 | 24 |
| 富山県 | 朝日町 383,192 | 礪波市 301,982 | 1.3倍 | 320,351 | 15 |
| 石川県 | 宝達志水町 399,934 | 能美市 309,414 | 1.3倍 | 332,305 | 13 |
| 福井県 | 美浜町 366,602 | 高浜町 267,854 | 1.4倍 | 309,796 | 19 |
| 山梨県 | 早川町 453,222 | 忍野村 213,204 | 2.1倍 | 268,288 | 40 |
| 長野県 | 麻績村 353,515 | 川上村 175,235 | 2.0倍 | 272,134 | 36 |
| 岐阜県 | 白川村 351,448 | 坂祝町 236,907 | 1.5倍 | 284,024 | 31 |
| 静岡県 | 西伊豆町 327,654 | 清水町 238,676 | 1.4倍 | 269,724 | 38 |
| 愛知県 | 豊根村 349,814 | 田原市 216,609 | 1.6倍 | 269,119 | 39 |
| 三重県 | 南伊勢町 351,544 | 度会町 242,340 | 1.5倍 | 293,746 | 27 |
| 滋賀県 | 多賀町 307,275 | 愛荘町 253,076 | 1.2倍 | 282,926 | 33 |
| 京都府 | 南山城村 397,110 | 京丹後市 265,347 | 1.5倍 | 298,681 | 25 |
| 大阪府 | 岬町 356,257 | 泉南市 251,570 | 1.4倍 | 305,357 | 21 |
| 兵庫県 | 佐用町 367,843 | 宍粟市 271,141 | 1.4倍 | 307,106 | 20 |
| 奈良県 | 上北山村 470,384 | 葛城市 258,468 | 1.8倍 | 288,970 | 29 |
| 和歌山県 | 九度山町 379,476 | みなべ町 214,689 | 1.8倍 | 297,339 | 26 |
| 鳥取県 | 江府町 400,394 | 北栄町 276,660 | 1.4倍 | 305,036 | 22 |
| 島根県 | 川本町 412,465 | 知夫村 299,604 | 1.4倍 | 346,810 | 4 |
| 岡山県 | 新庄村 392,784 | 倉敷市 318,981 | 1.2倍 | 332,779 | 12 |
| 広島県 | 大崎上島町 447,225 | 東広島市 317,756 | 1.4倍 | 351,815 | 1 |
| 山口県 | 上関町 423,351 | 田布施町 302,548 | 1.4倍 | 349,171 | 2 |
| 徳島県 | 三好市 428,246 | 松茂町 282,381 | 1.5倍 | 343,657 | 7 |
| 香川県 | 直島町 421,471 | 土庄町 302,762 | 1.4倍 | 346,873 | 3 |
| 愛媛県 | 上島町 432,975 | 愛南町 271,149 | 1.6倍 | 318,805 | 16 |
| 高知県 | 馬路村 549,175 | 四万十市 275,877 | 2.0倍 | 334,888 | 10 |
| 福岡県 | 豊前市 416,803 | 那珂川町 262,787 | 1.6倍 | 324,430 | 14 |
| 佐賀県 | みやき町 425,408 | 玄海町 281,310 | 1.5倍 | 340,137 | 8 |
| 長崎県 | 長崎市 401,069 | 小値賀町 231,078 | 1.7倍 | 343,895 | 6 |
| 熊本県 | 津奈木町 458,523 | 南小国町 232,841 | 2.0倍 | 313,463 | 18 |
| 大分県 | 津久見市 406,050 | 姪島村 246,147 | 1.6倍 | 346,638 | 5 |
| 宮崎県 | 日之影町 377,967 | 都農町 249,937 | 1.5倍 | 303,027 | 23 |
| 鹿児島県 | いちき串木野市 421,613 | 和泊町 218,167 | 1.9倍 | 335,603 | 9 |
| 沖縄県 | 渡名喜村 369,780 | 座間味村 146,837 | 2.5倍 | 240,938 | 47 |

(注) 3~2月診療ベースである。

都道府県内における1人当たり所得の格差(平成21年度)

1人当たり所得の全国平均 63.8万円

| | 平均所得(万円) | 最高 | | 最低 | | 格差 |
|-----|----------|------|-------|-------|------|-----|
| | | | (万円) | | (万円) | |
| 北海道 | 54.1 | 斜里町 | 175.5 | 赤平市 | 30.0 | 5.9 |
| 青森 | 43.5 | 三沢市 | 70.6 | 鶴田町 | 30.2 | 2.3 |
| 岩手 | 44.6 | 藤沢町 | 59.1 | 遠野市 | 35.5 | 1.7 |
| 宮城 | 53.1 | 丸森町 | 117.2 | 涌谷町 | 38.5 | 3.0 |
| 秋田 | 43.6 | 大湍村 | 210.7 | 小坂町 | 32.7 | 6.5 |
| 山形 | 50.1 | 山形市 | 58.3 | 小国町 | 35.6 | 1.6 |
| 福島 | 48.5 | 矢吹町 | 79.1 | 昭和村 | 35.0 | 2.3 |
| 茨城 | 61.8 | 守谷市 | 84.0 | 北茨城市 | 40.9 | 2.1 |
| 栃木 | 65.4 | 宇都宮市 | 83.4 | 茂木町 | 47.4 | 1.8 |
| 群馬 | 59.4 | 昭和村 | 105.6 | 上野村 | 42.8 | 2.5 |
| 埼玉 | 73.1 | 和光市 | 93.2 | 皆野町 | 46.9 | 2.0 |
| 千葉 | 73.6 | 浦安市 | 109.6 | 九十九里町 | 46.0 | 2.4 |
| 東京 | 93.5 | 港区 | 210.7 | 奥多摩町 | 56.5 | 3.7 |
| 神奈川 | 87.3 | 伊勢原市 | 120.5 | 山北町 | 68.5 | 1.8 |
| 新潟 | 52.1 | 津南町 | 60.6 | 阿賀町 | 35.7 | 1.7 |
| 富山 | 57.8 | 舟橋村 | 64.6 | 氷見市 | 51.1 | 1.3 |
| 石川 | 58.1 | 野々市町 | 68.7 | 中能登町 | 42.1 | 1.6 |
| 福井 | 57.5 | 越前町 | 65.5 | 大野市 | 47.5 | 1.4 |
| 山梨 | 58.4 | 山中湖村 | 93.9 | 丹波山村 | 45.6 | 2.1 |
| 長野 | 54.5 | 軽井沢町 | 93.5 | 大鹿村 | 35.3 | 2.7 |
| 岐阜 | 63.9 | 白川村 | 118.5 | 富加町 | 51.3 | 2.3 |
| 静岡 | 71.7 | 長泉町 | 84.9 | 南伊豆町 | 48.7 | 1.7 |
| 愛知 | 78.3 | 一色町 | 122.6 | 豊根村 | 54.2 | 2.3 |
| 三重 | 62.4 | 朝日町 | 86.6 | 御浜町 | 41.4 | 2.1 |
| 滋賀 | 59.0 | 栗東市 | 87.3 | 甲良町 | 40.5 | 2.2 |
| 京都 | 53.5 | 長岡京市 | 67.5 | 与謝野町 | 38.7 | 1.7 |
| 大阪 | 53.7 | 箕面市 | 81.4 | 泉南市 | 39.1 | 2.1 |
| 兵庫 | 59.9 | 芦屋市 | 108.6 | 新温泉町 | 42.9 | 2.5 |
| 奈良 | 55.2 | 生駒市 | 78.6 | 御杖村 | 31.5 | 2.5 |
| 和歌山 | 45.1 | みなべ町 | 57.5 | 北山村 | 27.5 | 2.1 |
| 鳥取 | 45.0 | 日吉津村 | 56.7 | 八頭町 | 36.4 | 1.6 |
| 島根 | 50.7 | 海士町 | 64.9 | 津和野町 | 37.3 | 1.7 |
| 岡山 | 52.2 | 浅口市 | 64.2 | 美作市 | 34.5 | 1.9 |
| 広島 | 59.8 | 海田町 | 74.1 | 神石高原町 | 42.2 | 1.8 |
| 山口 | 52.1 | 田布施町 | 71.9 | 阿武町 | 43.9 | 1.6 |
| 徳島 | 40.1 | 松茂町 | 49.9 | つるぎ町 | 22.8 | 2.2 |
| 香川 | 53.3 | 直島町 | 70.8 | 小豆島町 | 42.0 | 1.7 |
| 愛媛 | 47.4 | 松山市 | 57.4 | 松野町 | 24.2 | 2.4 |
| 高知 | 42.9 | 馬路村 | 61.2 | 大豊町 | 27.3 | 2.2 |
| 福岡 | 49.1 | 太宰府市 | 81.7 | 川崎町 | 21.5 | 3.8 |
| 佐賀 | 50.8 | 白石町 | 63.1 | 大町町 | 34.6 | 1.8 |
| 長崎 | 43.7 | 長与町 | 57.5 | 平戸市 | 36.2 | 1.6 |
| 熊本 | 46.4 | 西原村 | 66.0 | 津奈木町 | 25.3 | 2.6 |
| 大分 | 42.8 | 大分市 | 48.1 | 姫島村 | 24.8 | 1.9 |
| 宮崎 | 44.4 | 延岡市 | 55.3 | 五ヶ瀬町 | 31.9 | 1.7 |
| 鹿児島 | 40.6 | 日置市 | 55.6 | 伊仙町 | 15.1 | 3.7 |
| 沖縄 | 36.2 | 嘉手納町 | 69.8 | 多良間村 | 16.6 | 4.2 |

(注1)厚生労働省保険局「平成22年度国民健康保険実態調査」(保険者票)における平成21年所得である。

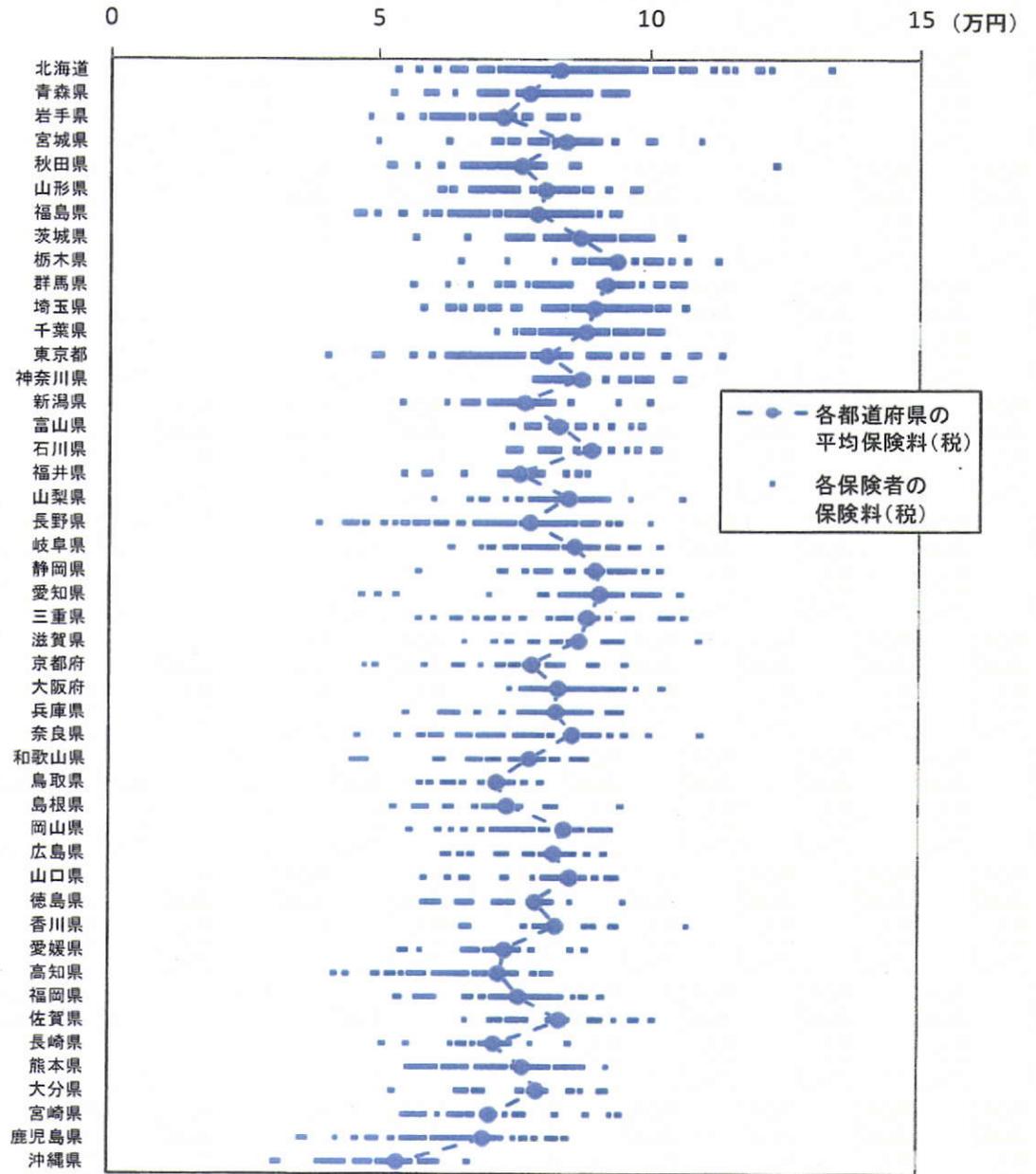
(注2)ここでいう「所得」とは、旧ただし書所得(総所得金額及び山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額から基礎控除を除いた金額)である。

保険料(税)調定額の県内・県間格差

都道府県別1人当たり保険料(税)調定額の格差の状況(平成21年度)

| | 保険者別1人当たり保険料(税)調定額 | | | 都道府県別1人当たり保険料(税)調定額 | |
|------|--------------------|-------------|------|---------------------|----|
| | 最大 | 最小 | 格差 | 順位 | |
| 北海道 | 猿払村 133,682 | 上川町 53,376 | 2.5倍 | 83,673 | 20 |
| 青森県 | 東通村 95,572 | 鶴田町 52,792 | 1.8倍 | 77,828 | 33 |
| 岩手県 | 矢巾町 86,281 | 岩泉町 48,396 | 1.8倍 | 73,023 | 41 |
| 宮城県 | 富谷町 109,641 | 七ヶ宿町 49,825 | 2.2倍 | 84,600 | 16 |
| 秋田県 | 大湯村 123,405 | 鹿角市 51,975 | 2.4倍 | 76,233 | 38 |
| 山形県 | 南陽市 97,974 | 西川町 61,382 | 1.6倍 | 80,966 | 26 |
| 福島県 | 泉崎村 94,338 | 只見町 45,856 | 2.1倍 | 79,475 | 28 |
| 茨城県 | 境町 106,118 | 東海村 56,938 | 1.9倍 | 87,182 | 11 |
| 栃木県 | 西方町 112,838 | 那珂川町 65,193 | 1.7倍 | 93,965 | 1 |
| 群馬県 | 太田市 106,562 | 上野村 56,533 | 1.9倍 | 92,109 | 2 |
| 埼玉県 | 所沢市 106,630 | 小鹿野町 58,472 | 1.8倍 | 89,939 | 5 |
| 千葉県 | 習志野市 102,443 | 成田市 71,838 | 1.4倍 | 88,281 | 8 |
| 東京都 | 千代田区 113,554 | 三宅村 40,506 | 2.8倍 | 81,379 | 25 |
| 神奈川県 | 箱根町 106,427 | 座間市 79,249 | 1.3倍 | 87,550 | 9 |
| 新潟県 | 粟島浦村 100,320 | 津南町 54,584 | 1.8倍 | 77,019 | 35 |
| 富山県 | 黒部市 98,896 | 立山町 74,768 | 1.3倍 | 83,681 | 19 |
| 石川県 | 野々市町 102,023 | 川北町 74,054 | 1.4倍 | 89,484 | 6 |
| 福井県 | あわら市 88,849 | 池田町 55,069 | 1.6倍 | 76,255 | 37 |
| 山梨県 | 鳴沢村 106,501 | 小菅村 60,460 | 1.8倍 | 85,312 | 15 |
| 長野県 | 山形村 100,507 | 大鹿村 39,113 | 2.6倍 | 78,131 | 32 |
| 岐阜県 | 美濃加茂市 102,235 | 飛騨市 63,559 | 1.6倍 | 86,374 | 12 |
| 静岡県 | 浜松市 102,169 | 川根本町 57,545 | 1.8倍 | 90,442 | 4 |
| 愛知県 | 高浜市 106,092 | 豊根村 47,057 | 2.3倍 | 91,211 | 3 |
| 三重県 | 桑名市 106,654 | 御浜町 57,497 | 1.9倍 | 88,860 | 7 |
| 滋賀県 | 栗東市 109,290 | 甲良町 66,059 | 1.7倍 | 87,347 | 10 |
| 京都府 | 精華町 95,852 | 伊根町 47,585 | 2.0倍 | 78,588 | 30 |
| 大阪府 | 大阪狭山市 102,520 | 田尻町 74,472 | 1.4倍 | 83,393 | 21 |
| 兵庫県 | 南あわじ市 95,098 | 新温泉町 55,458 | 1.7倍 | 83,125 | 23 |
| 奈良県 | 平群町 109,756 | 下北山村 46,187 | 2.4倍 | 85,968 | 13 |
| 和歌山県 | 有田川町 88,594 | 古座川町 45,353 | 2.0倍 | 78,321 | 31 |
| 鳥取県 | 北栄町 80,369 | 岩美町 58,100 | 1.4倍 | 72,107 | 43 |
| 島根県 | 斐川町 94,911 | 邑南町 52,969 | 1.8倍 | 74,081 | 39 |
| 岡山県 | 笠岡市 93,193 | 美咲町 56,022 | 1.7倍 | 84,545 | 17 |
| 広島県 | 坂町 91,979 | 世羅町 62,461 | 1.5倍 | 82,570 | 24 |
| 山口県 | 防府市 94,500 | 阿武町 58,662 | 1.6倍 | 85,915 | 14 |
| 徳島県 | 徳島市 95,569 | 那賀町 58,634 | 1.6倍 | 79,343 | 29 |
| 香川県 | 多度津町 107,347 | 綾川町 65,965 | 1.6倍 | 83,157 | 22 |
| 愛媛県 | 四国中央市 88,649 | 西予市 54,669 | 1.6倍 | 73,764 | 40 |
| 高知県 | 高知市 82,119 | 三原村 42,018 | 2.0倍 | 72,714 | 42 |
| 福岡県 | 新宮町 91,587 | 添田町 53,708 | 1.7倍 | 76,427 | 36 |
| 佐賀県 | 基山町 101,124 | 玄海町 66,471 | 1.5倍 | 84,026 | 18 |
| 長崎県 | 大村市 85,583 | 小値賀町 51,084 | 1.7倍 | 71,631 | 44 |
| 熊本県 | あさぎり町 92,636 | 天草市 56,132 | 1.7倍 | 77,133 | 34 |
| 大分県 | 白杵市 92,565 | 姫島村 53,102 | 1.7倍 | 79,626 | 27 |
| 宮崎県 | 川南町 94,989 | 日之影町 55,128 | 1.7倍 | 71,033 | 45 |
| 鹿児島県 | 南種子町 85,188 | 伊仙町 36,076 | 2.4倍 | 69,714 | 46 |
| 沖縄県 | 北谷町 67,000 | 伊平屋村 30,907 | 2.2倍 | 54,034 | 47 |

1人当たり保険料(税)調定額



(注) 1 保険料(税)調定額には介護納付金分を含んでいない。
2 被保険者数は3~2月の年度平均を用いて計算している。

(※)平成21年度 国民健康保険事業年報を基に作成

保険基盤安定制度の概要

○保険料軽減分

保険料軽減(応益分の7割、5割、2割)の対象となった被保険者の保険料のうち、軽減相当額を公費で補てん。

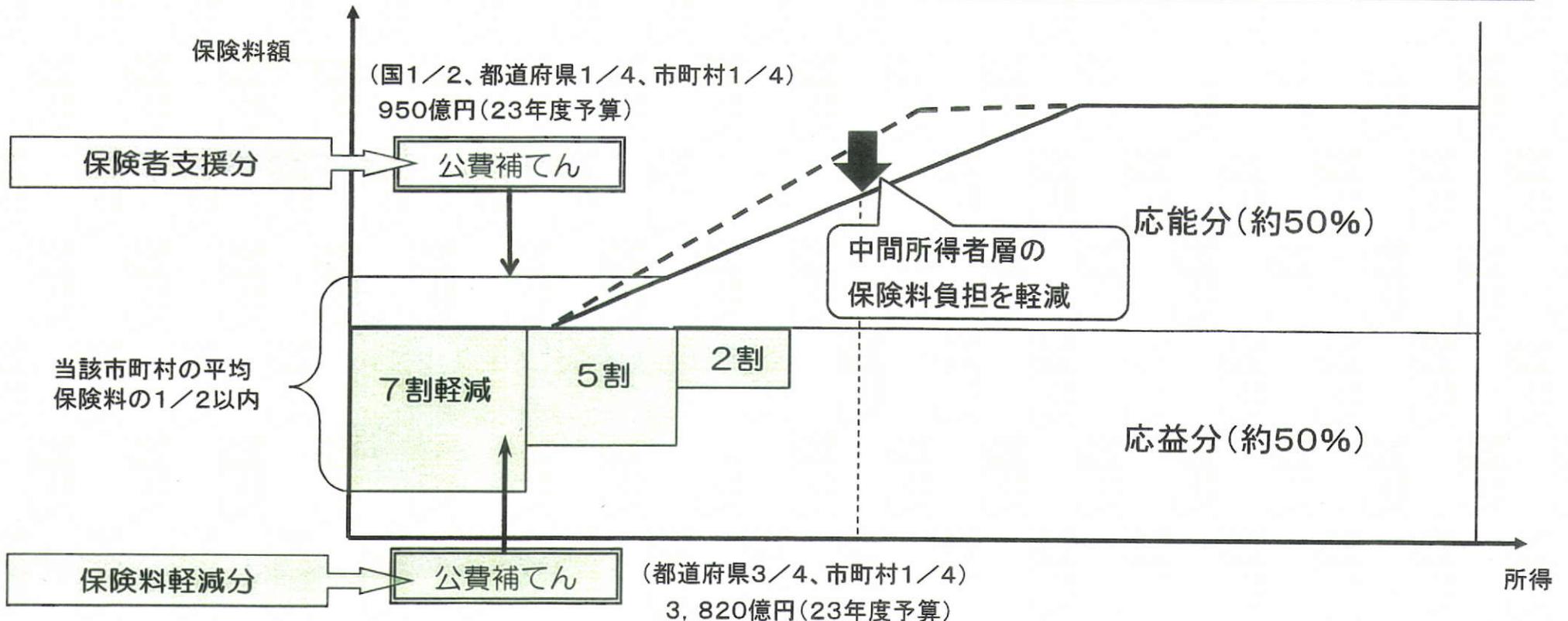
※ 対象者(平成22年度実績) 7割軽減 770万人(22.8%)、5割軽減 230万人(6.8%)、2割軽減 372万人(11.0%)

対象者の収入(3人世帯、給与収入の場合) 98万円以下 147万円以下 223万円以下

(注)対象者のうち、7割軽減には6割軽減対象者を、5割軽減には4割軽減対象者を含む。

○保険者支援分

中間所得者層を中心に保険料負担を軽減するため、保険料軽減の対象となった一般被保険者数に応じて、平均保険料の一定割合を公費で補てん。



国保財政基盤強化策（暫定措置）の延長（平成22年度～）

市町村国保の財政運営については、今後とも、厳しい状況が続くものと見込まれることから、平成22年度から平成25年度までの4年間、下記のとおり、財政基盤強化策を継続実施する。

なお、新たな高齢者医療制度の検討に合わせて、必要に応じ、途中年度でも、財政基盤強化策の見直しを行う。

1 高額医療費共同事業の継続

- 1人1か月80万円を超える医療費について、各市町村国保の拠出により、負担を共有（負担区分）市町村国保1/2、都道府県1/4、国1/4

2 保険財政共同安定化事業の見直し（都道府県の役割と権限の強化）

- 1人1か月30万円を超える医療費について、各市町村国保の拠出により、負担を共有
- 保険料平準化や国保財政の広域化等の観点から、都道府県が次の内容について「広域化等支援方針」で定めることができるようにする。
 - ・事業の対象となる医療費の範囲の拡大（30万円以下でも可）
 - ・市町村国保からの拠出金の拠出方法の基準

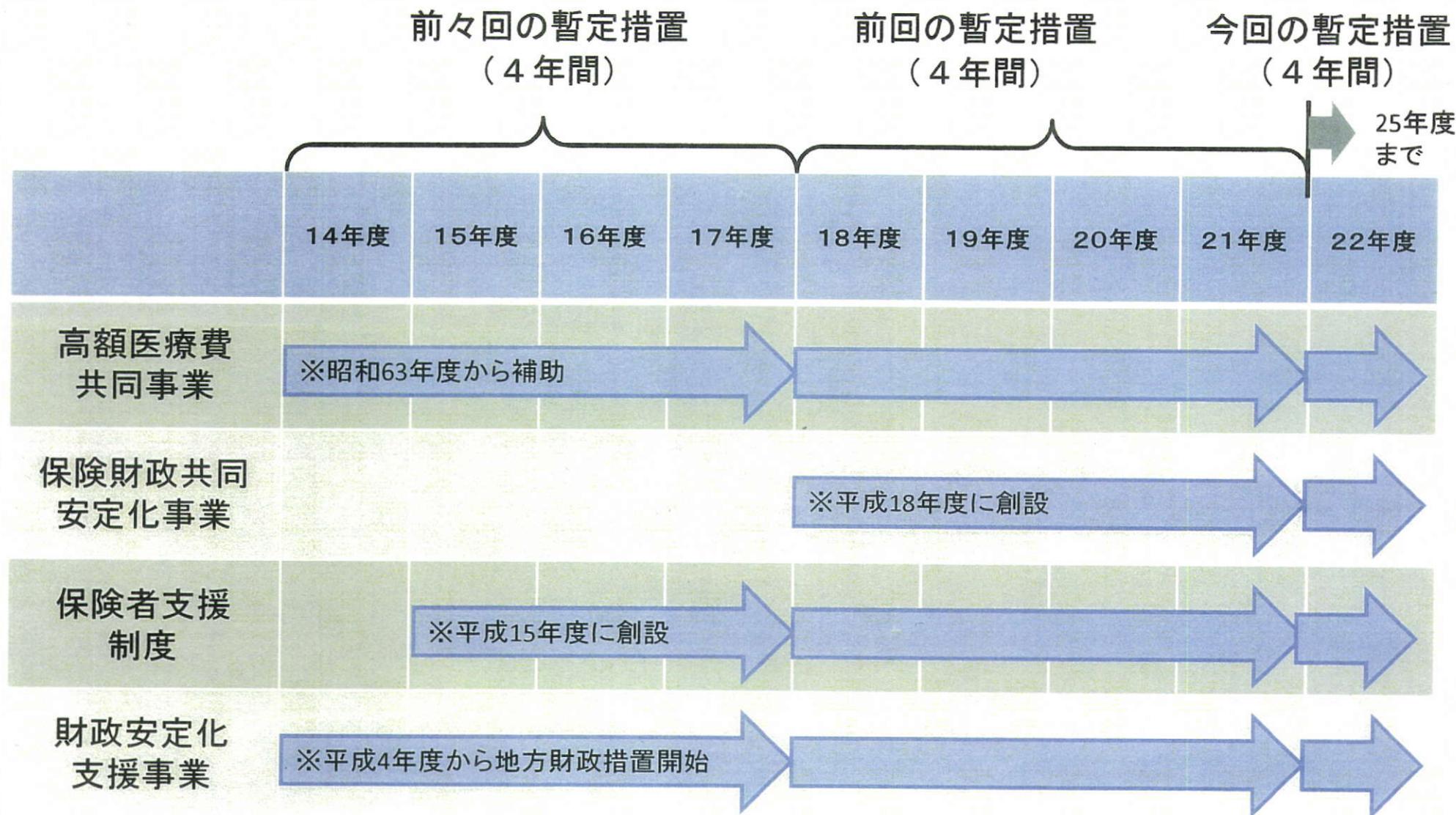
3 保険者支援制度の継続

- 低所得者を多く抱える保険者を財政的に支援（負担区分）国1/2、都道府県1/4、市町村1/4

（参考） 国保財政安定化支援事業の継続

- 市町村の一般会計から国保特会への繰入れを地方財政措置で支援（1,000億円程度）

国保財政基盤強化策の経緯

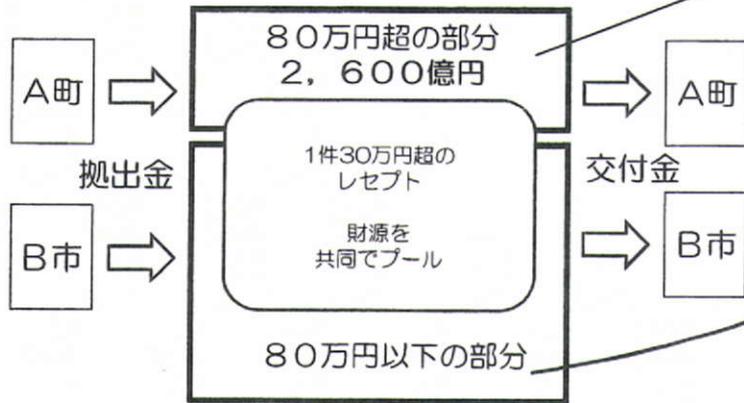


国保財政基盤強化策の概要(平成22年度～)

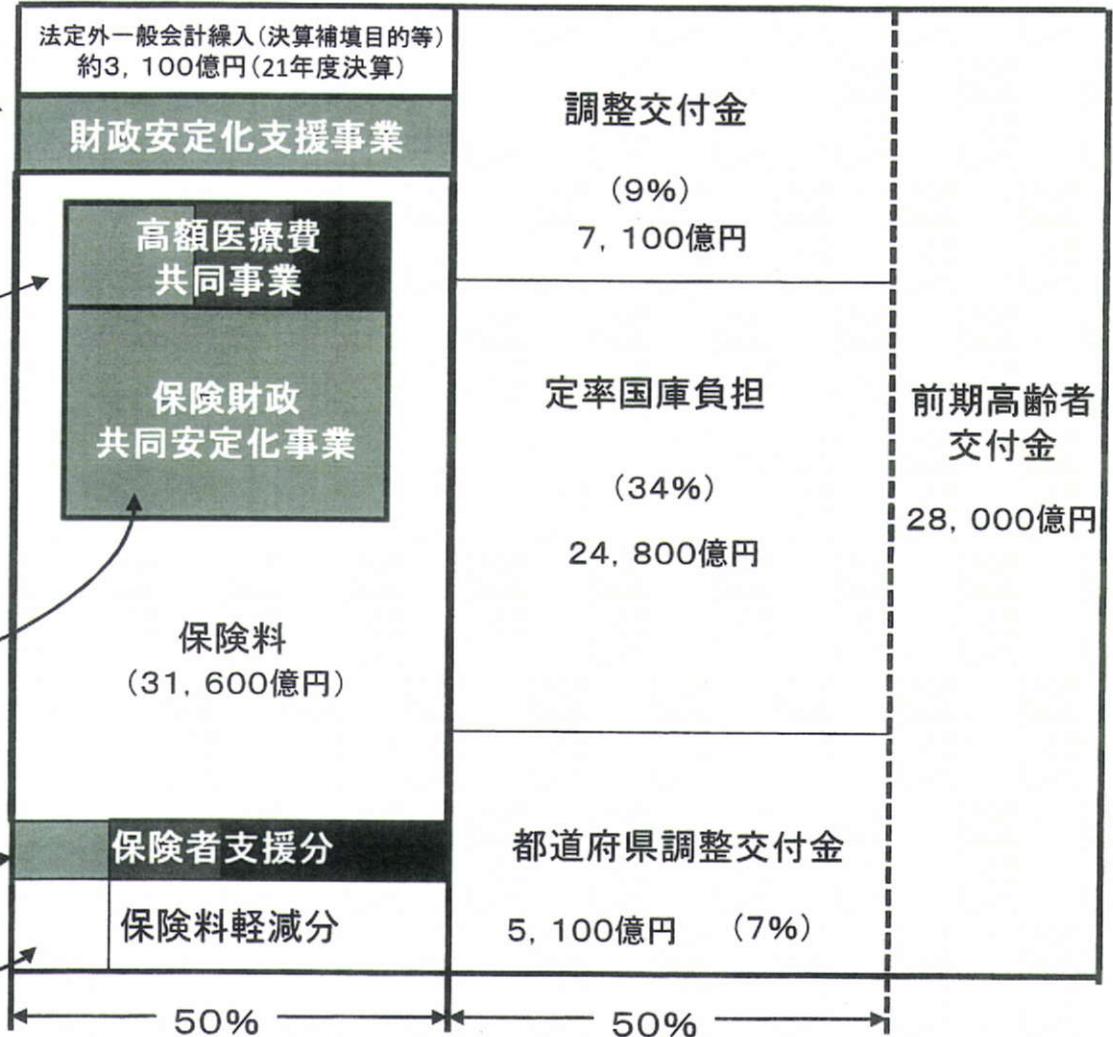
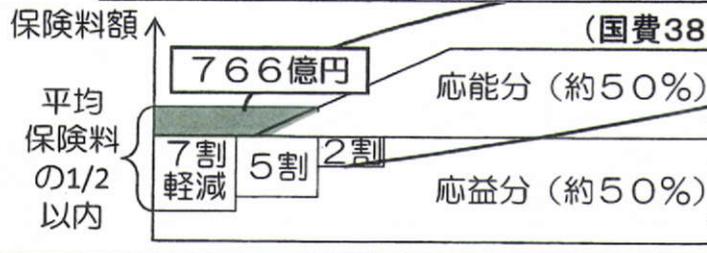
(白抜き太字) 4年間の暫定措置(22～25年度)

保険者の責に帰さない
所得水準、病床数等に着目
市町村への地方財政措置
1,000億円程度

高額な医療費に関する
都道府県単位の互助事業
(実施主体)各都道府県国保連合会
80万円超の1/2に公費
都道府県(1/4) 国(1/4) (国費131億円)



保険料軽減対象者数に応じて補助
市町村(1/4) 都道府県(1/4) 国(1/2)
(国費383億円)



国保財政のイメージ

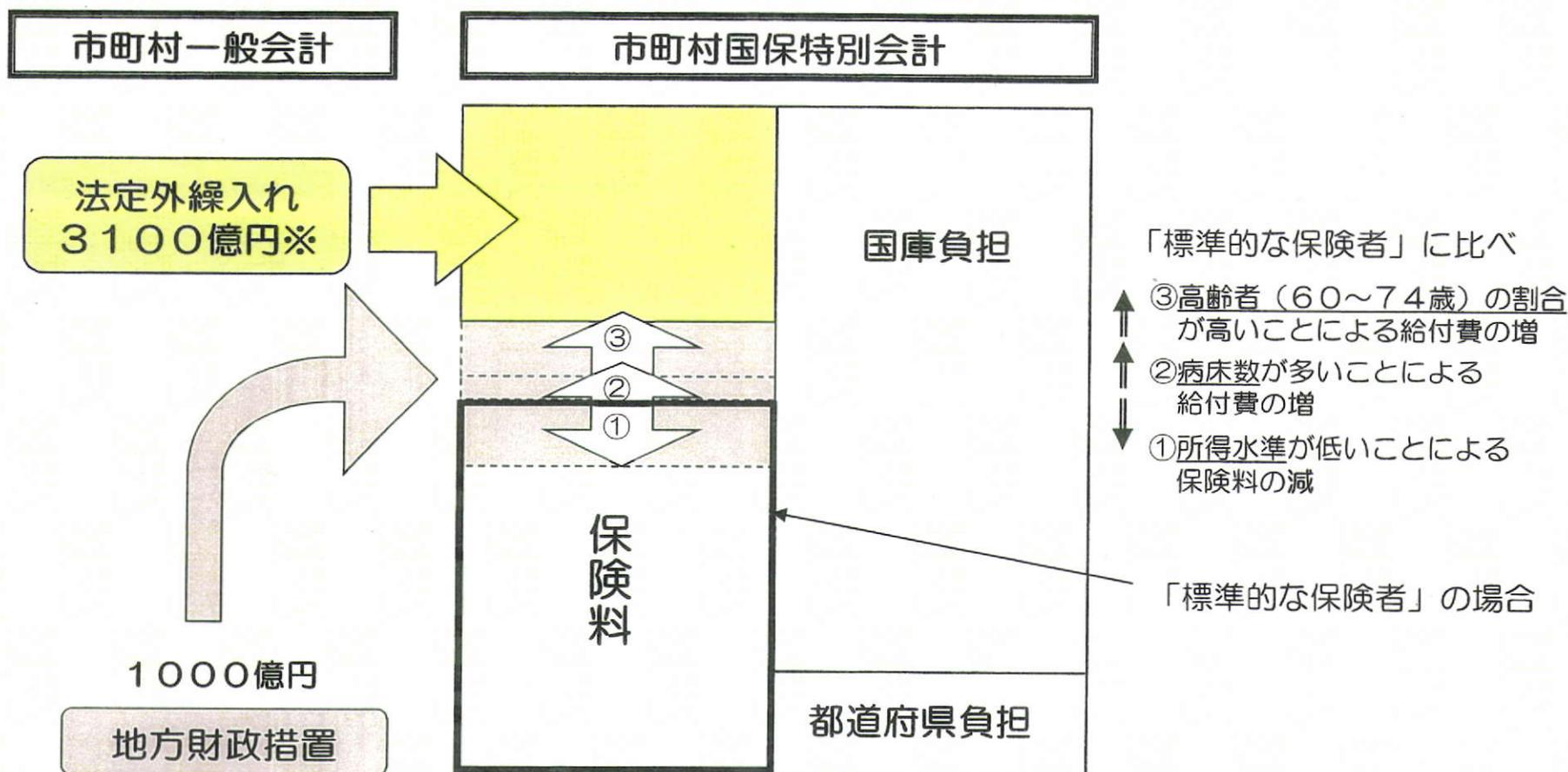
医療給付費等総額 : 約10兆3,100億円(22年度予算)

財政安定化支援事業（地方交付税措置）

市町村国保財政の安定化、保険料(税)負担の平準化等に資するため、市町村一般会計から市町村国保特別会計への繰入れについて地方財政措置するもの。具体的には、ア. 保険料負担能力、イ. 過剰病床、ウ. 年齢構成差を勘案して算定された対象経費に相当する額を基準財政需要額に算入。

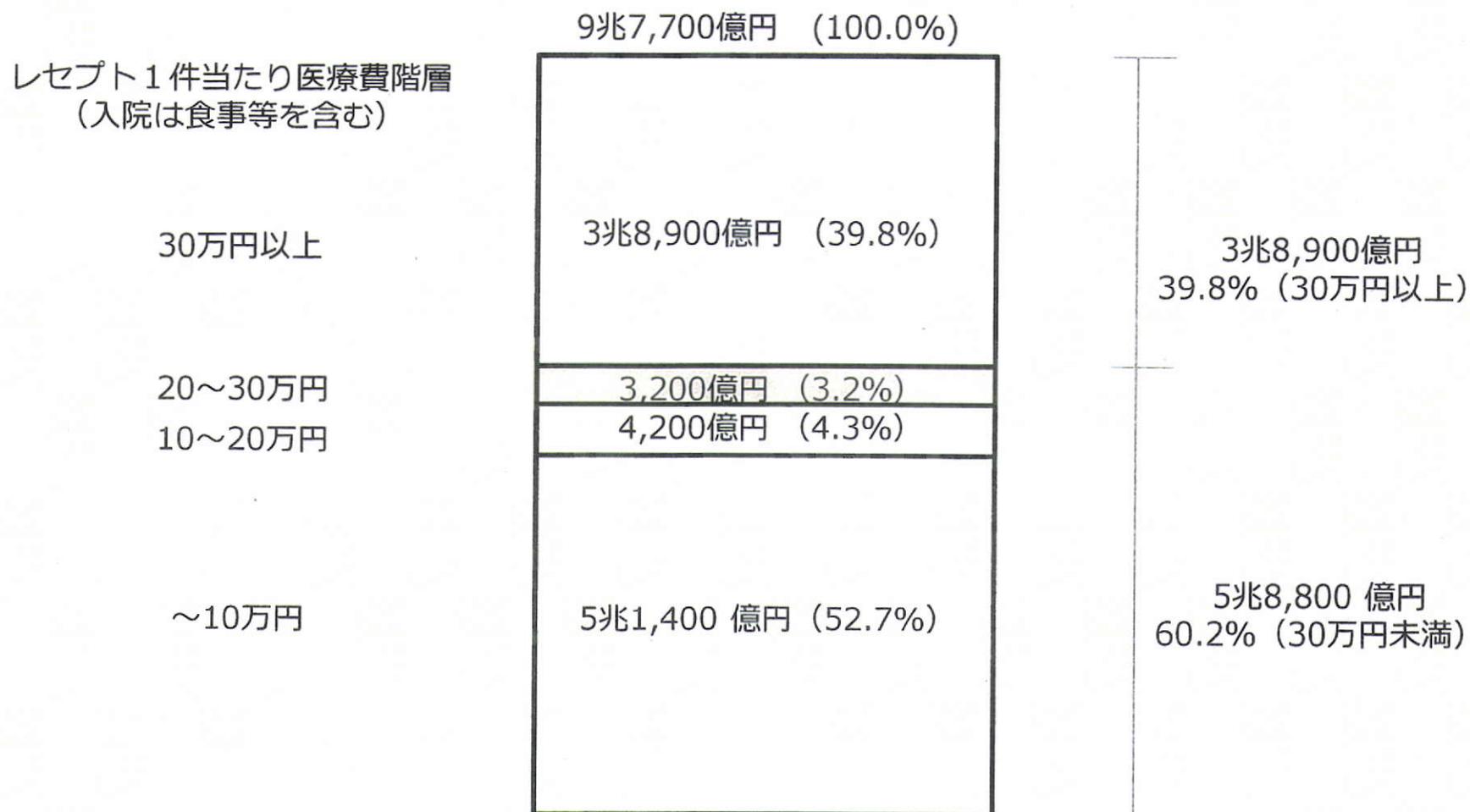
(措置額の推移) 平成4年度 約1000億円、平成5～12年度 約1250億円、平成13～21年度 約1000億円

※ 市町村では、これ以外に、決算補填等のため、3100億程度の繰入れをしている状況。(平成21年度)



※ 決算補填等の目的の額

市町村国保における1件当たり医療費階層別の医療費総額



出所：「平成21年度 医療給付実態調査」(厚生労働省)

※ 市町村国保(退職を除く)における、入院、食事・生活療養、入院外、歯科、調剤に係る医療費の総額(平成21年度実績ベース)。